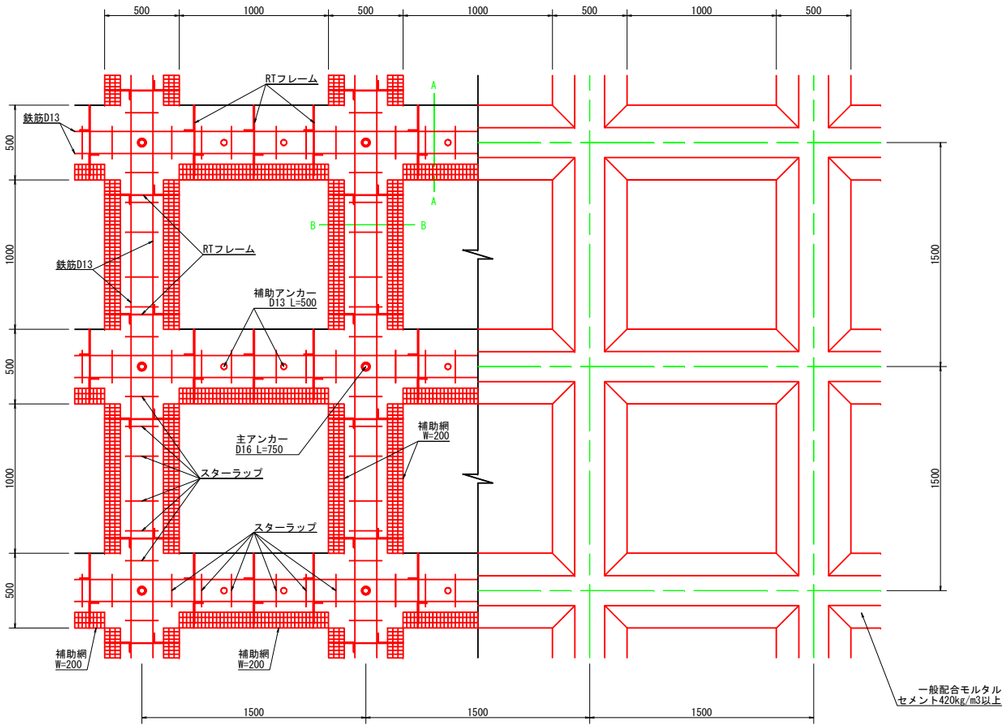
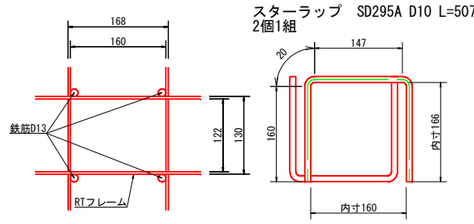
構造図
RTⅣ型　1500×1500
スターラップ仕様

標準施工図（正面図）　S=1：20

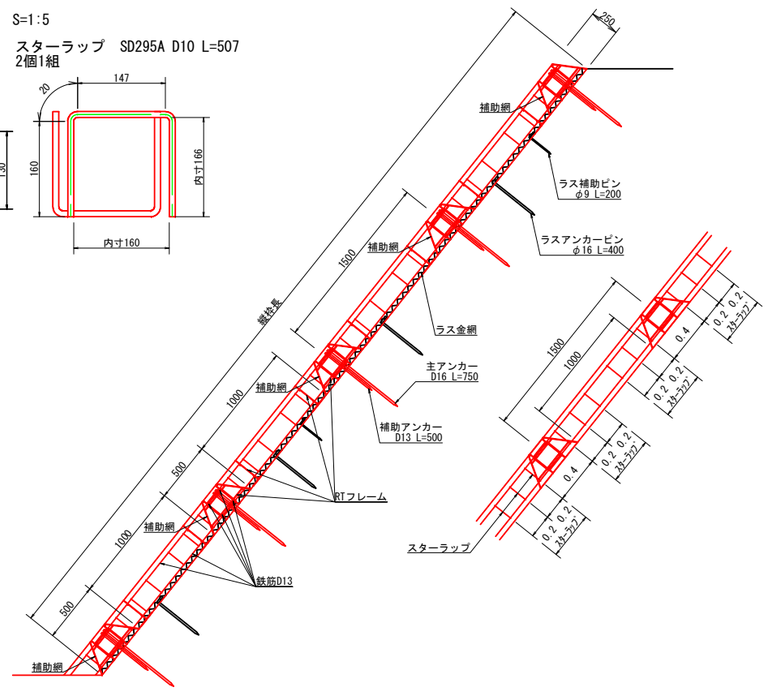


スターラップ加工図　S=1:5

スターラップ　SD295A D10 L=507
2個1組

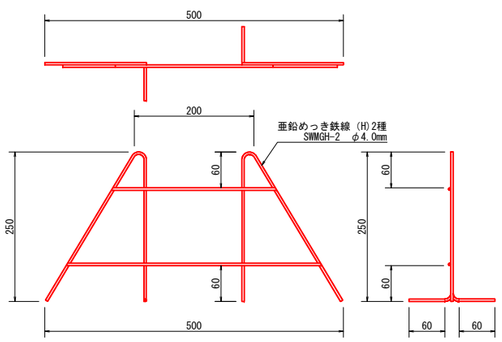


標準施工図（横断図）　S=1：25

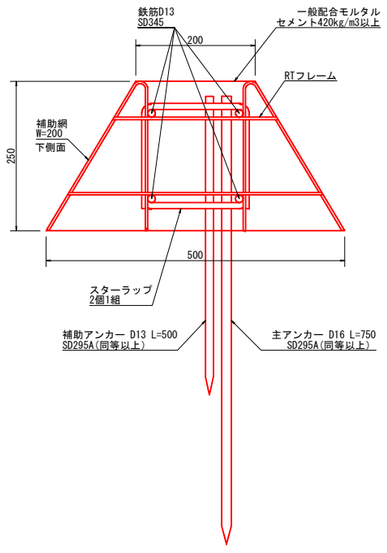


RTフレーム詳細図Ｓ＝1：5

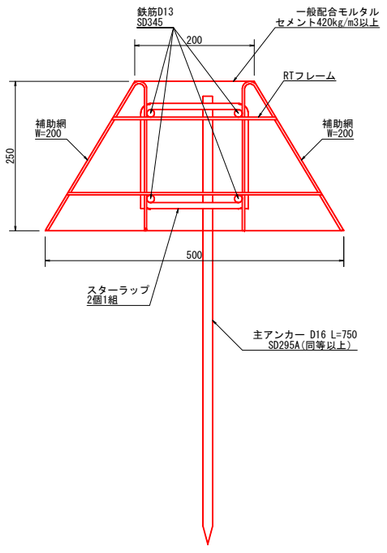
RTⅣ型　スターラップ仕様



A-A断面　S=1：5



B-B断面　S=1：5



標準数量（積算基準数量）

高さ21.50m×長さ48.50m＝1042.75m2の法面として数量算出

横枠数＝（21.50m-0.50m）/1スパン1.5m＝14スパン ＊15段

縦枠数＝（48.50m-0.50m）/1スパン1.5m＝32スパン ＊33列

項目	材料	数量	数量計算	
法枠長		1189.50m	（21.50m×33列+48.50m×15段）-33列×15段×0.50m＝1189.50m	
鉄筋加工組立工	鉄筋　D13　SD345	5719.26kg	（21.50m×33列+48.50m×15段）×4本×0.995kg/m＝5719.26kg	＊損失ロスを含まない数量。 鉄筋使用量には1%加算が必要。
スターラップ設置工	スターラップ加工品	5652箇所 ×2ケ	縦枠　6箇所/スパン×14スパン×33列＝2772箇所 横枠　6箇所/スパン×32スパン×15段＝2880箇所	
RTﾌﾚｰﾑ設置工	RTﾌﾚｰﾑ　Ⅳ型 W=200-500　h=250	2364個	縦枠　2個/スパン×14スパン×33列＝924個 横枠　3個/スパン×32スパン×15段＝1440個	
主ｱﾝｶｰ設置工	先付けｱﾝｶｰ　D16　L=750	495本	33列×15段＝495本	
補助ｱﾝｶｰ設置工	先付けｱﾝｶｰ　D13　L=500	960本	2本/スパン×32スパン×15段＝960本	
補助網設置工	吹付枠用金網　200×1000	1404枚	縦枠　2枚/スパン×14スパン×33列＝924枚 横枠　1枚/スパン×32スパン×15段＝480枚	
枠内清掃工		448箇所	14スパン×32スパン＝448箇所	
法枠吹付工	一般配合モルタル	110.37m3	断面積＝0.088m2　交差部体積＝0.0325m3 （21.50m×33列+48.50m×15段）×0.088m2-33列×15段×0.0325m3＝110.37m3	＊損失ロスを含まない数量。 吹付使用量には30%加算が必要。
枠内面積		448.00m2	1042.75m2-1189.50m×0.50m＝448.00m2	

注意事項

＊本表記載の数量は、法枠長1.0m当りの工事単価を求める積算基準数量であり、基準スパンに基づいて求めた数量である。
実施スパンは法面形状に応じて調整を行うので実施数量も変動するが、単価積算での数量変更は行わないものとする。

＊モルタルの設計基準強度は18N/mm2に設定している。（標準配合：セメント420kg/m3、1:4モルタル）

＊モルタルに混和剤・添加剤は含んでいないので、必要に応じて計上するものとする。

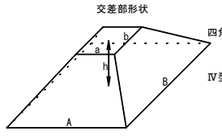
＊鉄筋はD13*SD345を標準とし、重ね長さは455mm以上とする。（計算書による。）

＊各アンカーは、吹付中に鉄筋がズレないような状態に設置し、鉄筋を固定する。

＊横枠の下側面と、縦枠の両側面へ補助網（吹付枠用金網相当）を設置し、モルタルのダレを防止する。
設計網幅は必要最低限の200mmとしているので、200mmより広いものを使用してもよい。

＊吹付の仕上げは自然状態とし、小手による整形は行わないものとする。
但し、ロックボルト併用の場合の角座金設置面は、平坦な仕上げとする。

交差部形状



四角錐台の体積　V=h/6（Ab + aB + 2(ab + AB)）

Ⅳ型寸法　a=b=0.20m　A=B=0.50m　h=0.25m

Ⅳ型交差部体積　V=0.25/6（0.50×0.20 + 0.20×0.50 + 2（0.20×0.20 + 0.50×0.50））
＝0.0325m3

Ⅳ型断面積　S=(0.20+0.50)/2×0.25=0.088m2